

2024年9月27日

ヒューマンアジャスト(249A)

「日本全国の施術者の地位向上と業界の発展」を掲げて働き方改革。店舗数拡大と人材紹介事業強化

TOKYO PRO Market | ヘルスケア施設 | 会社紹介



A member of PhillipCapital

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 249A:JP | REUTERS 249A.T

- 鍼灸接骨院運営事業を中核事業とする。店舗運営等支援事業もその中の人材紹介事業において経営体制強化で本格的な事業展開に乗り出す。
- 「日本全国の施術者の地位向上と業界の発展」をビジョンとして掲げて労働環境の整備に注力。希少な国家資格者採用への強みとなっている。
- 店舗共通業務の共有基盤を整備。経営者高齢化や市場環境の厳しさに伴う事業譲受増加を追い風に店舗拡大で1店舗当たりコストも削減効果。

同社の事業について

同社事業は、①鍼灸接骨院運営事業（2024/3期売上構成比99.2%）を中核事業とし、店舗運営ノウハウを、②店舗運営等支援事業（同0.8%）として展開する。同社事業の特徴・強みとして以下の点が挙げられる。

第1に、国家資格者採用における優位性である。鍼灸師や柔道整復師などの国家資格の合格者数が大幅に減少するなかで採用が難化している。同社は「日本全国の施術者の地位向上と業界の発展」をビジョンとして掲げ、8時間労働のシフト制を導入および完全週休2日制の確保を実現するなど労働環境を整備し、働き方改革を実現。新卒・中途を問わず国家資格者である求職者への訴求力が高く、事業拡大に必要な人材獲得において業界内で競争力を有している。

第2に、平均サービス単価上昇など高付加価値化の実現である。鍼灸接骨院業界では主要顧客の人口減少傾向に加え、保険適用となる療養費が国策により削減されるほか療養費請求の審査厳格化の傾向が強まっている。また、接骨院数増加に伴い1店舗当たり平均療養費も減少傾向にある。同社は施術需要の変化に伴う保険適用外の自費施術、および美容を訴求した物品販売強化などにより、業界内での競争力を高めている。

第3に、標準化・デジタル化された店舗共通業務の共有基盤整備に伴う多店舗運営の強みである。新規出店だけでなく事業譲受の場合であっても迅速に同社グループと一体化を進めることができ、店舗拡大に伴う1店舗当たりのコスト低減効果を楽しむことができる。経営者高齢化や市場環境から撤退を検討する鍼灸接骨院の増加が見込まれることも追い風だろう。

業績と見通し

2024/3通期実績は、新型コロナウイルスの第5類引下げを背景に売上高が前期比42.1%増の19.53億円、営業利益が前期▲68百万円から63百万円へ黒字転換。セグメント別業績は以下の通り。鍼灸接骨院運営事業は売上高が同41.5%増の19.36億円、セグメント利益が前期▲63百万円から70百万円へ黒字転換。店舗運営等支援事業は売上高が同176.6%増の16百万円、セグメント利益が前期▲4百万円から5百万円へ黒字転換だった。

2025/3通期会社計画は、売上高が前期比15.6%増の22.58億円、営業利益が同23.7%増の79百万円。鍼灸接骨院運営事業では新規出店・事業譲受に伴う店舗数拡大と同時に積極採用を行う方針。店舗運営等支援事業では、人材紹介事業において求職者サイト向け登録者数が右肩上がりのなか経営体制を強化して本格的な事業展開に乗り出している。

業績推移

事業年度	2022/3	2023/3	2024/3	2025/3F
売上高(百万円)	-	1,374	1,953	2,258
経常利益(百万円)	-	-49	56	30
当期利益(百万円)	-	-34	27	19
EPS(円)	-	-116.42	92.82	66.50
PER(倍)	-	-	18.32	25.56
BPS(円)	-	134.80	226.23	-
PBR(倍)	-	12.61	7.51	-
配当(円)	-	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	-	0.00	0.00	-

(※)2024/6/25付で普通株式1株を5000株とする株式分割を実施。2023/3期期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS、配当を計算している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 1,700 2024/9/27(終値)

会社概要

2006年4月に埼玉県狭山市で接骨院1店舗目を開業して以来店舗数を拡大し、2024年5月末現在、49店舗(関東1都6県全域に47店舗、福岡県に2店舗)の鍼灸接骨院を運営する。

施術者自らも自らも幸せでなければ利用者を笑顔にすることはできないという思いから「日本全国の施術者の地位向上と業界の発展」をビジョンとして掲げ、地域社会に健康を提供し続けることを目指している。

2024年9月27日にTOKYO PRO Marketに新規上市した。

同社グループは「鍼灸接骨院運営事業」を中核事業としつつ、その店舗運営のノウハウを活かして同業他社への支援サービスを「店舗運営等支援事業」として展開。

鍼灸接骨院運営事業は、①鍼灸接骨院の運営、②物品販売から構成される。「鍼灸接骨院」とは、柔道整復師(接骨院)、および、はり師・きゅう師・あん摩マッサージ師(鍼灸院)といった国家資格者が施術サービスを行う各施設を総称。施術は利用者の費用負担の観点から、健康保険が適用される「療養費」、および保険が適用されず、全額自己負担となる「自費診療」に分けられる。

店舗運営等支援事業は、①店舗支援事業、②国家資格者の人材紹介事業から構成される。店舗支援事業は、保険者(国、各種健康保険組合等)に対する療養費の請求代行機関の紹介を行うことで紹介手数料を収益とする「療養費請求代行紹介事業」、および、院運営の悩みを解決して経営を高度化する様々なサービスを提供する「運営支援事業」を含む。

企業データ

主要株主(2024/8/23) (%)
1.根岸 靖 100

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っていません。